

5. 中心市街地の活性化の目標と評価指標の設定

目標1～6の達成状況が把握できる評価指標を以下のとおり定めます。

【指標】

目標1：良好な市街地環境の形成

目標2：地域コミュニティの増進

目標1・2に対応した指標

○居住者人口

平成23年1月1日中心市街地人口を基準として5年間で約200名増とします。

平成23年1月1日	⇒	平成29年1月1日
15,805 人 (16,212 人)	⇒	16,000 人 (16,400 人)

※（ ）は外国人登録数を含む人数

○中心市街地への居住希望者数

「どちらでもない」、「住みたくない」の回答の割合を現在（約60%）の1/4程度減らし、「住みたい」の回答の割合45%を目標とします。

平成22年12月アンケート	⇒	平成28年度
住みたい(条件があれば住みたい) の回答の割合 30.8%	⇒	45%

目標3：商業等の各種都市機能の集積

目標4：まちの賑わいの創出

目標3・4に対応した指標

○狭山市駅利用者数

駅利用者は、過去5年の値から減少傾向にありますが、事業の実施による効果により38,000人を減少の下限とすることを目標とします。

平成22年	⇒	平成28年
41,717 人	⇒	38,000 人

○市民交流センターの利用者数

現在想定されている目標利用者数を維持し、約 250,000 人を目標とします。

平成 23 年度	⇒	平成 28 年度
——	⇒	250,000 人

※市民交流センターは、平成 24 年度より事業開始。

○産業労働センターの利用者数

現在想定されている目標利用者数 48,200 人を目標とします。

平成 22 年度	⇒	平成 28 年度
29,119 人	⇒	48,200 人



産業労働センター

○中心市街地の商店数

現在の商店数を維持し、500 店舗を目標とします。

平成 23 年度	⇒	平成 28 年度
473 店舗	⇒	500 店舗

※平成 23 年 10 月現在。

目標 5：魅力ある都市景観の形成

目標 6：地域の生活文化の醸成

目標 5・6 に対応した指標

○イベント時の駅利用者数（入間川七夕まつり時の駅利用者数）

最近 6 年間の駅利用者数の平均である 89,220 人を目標とします。

平成 23 年度	⇒	平成 29 年度
88,623 人	⇒	89,220 人